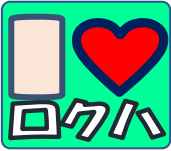


ロクハの自然をどうぞ 9月号



公園利用の呼びかけ看板のヒストグラム。公園利用の人だけでなく、すべての動植物を守るための大切なことです。



台風、白露、新涼、秋涼、初秋、稲刈り、秋晴、運動会、清涼、彼岸、秋冷



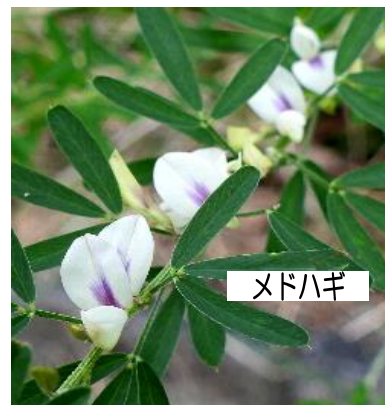
日本の秋の、柵山の景色の中で重要な花ヒガンバナ。季節を表す名前は見事にその時期に咲きます。子どものころは喜んで摘み取って帰ると怒られました。火事につながる火焰花の俗称もあります。墓地にも植えられていたなと思います。地下茎は毒をもつので、水田のあぜの動物書を減らすため植えられたとも聞きます。白や黄色の種がありますが別名がついています

秋の七草

春の七草は「七草がゆ」があるように食べられますが、秋の七草はめでのものが中心です。ハギ・キキョウ・クズ・フジバカマ オミナエシ オバナ・ナデシコ



マルバハギ



メドハギ



アレンチヌスビトハギ

ヌスビトハギ



クズ



フジバカマ



ススキ (尾花)

今のところナデシコ・オミナエシ・キキョウはありません。今年の中秋の名月は9/17、まだススキの花は間に合わないようです。市内で「萩の玉川」という名水の名所がありたくさんのハギが植えられています。公園のハギはその種類とはちがうもの

実りの秋をむかえる木の实

これから秋が進むにつけいろいろな実が熟してきます。今の時期はまだ「あおい」ものが多いですがこの月のうちに、しっかり熟し、落ちていくものもあります。



クワ



アケビ



コブシ



ギンナン



ヤマイモ (むかご)



トウカエデ



オオカエデ



ミヤマガマズミ



コナラ



カキノキ



アサガオ



エゴノキ



ゴンズイ



マテバシイ



リンゴツバキ



ソヨゴ



オニグルミ



ヤマハゼ



アオツラフジ



アラカシ



イヌマキ



アレチノヌスビトハギ



サルトリイバラ



ムベ



クヌギ



アカメガシワ



ナンキンハゼ



ユリノキ



カラスザンショウ



モミジバフウ



カラスウリ



カクレミノ



エノキ



ニシキギ



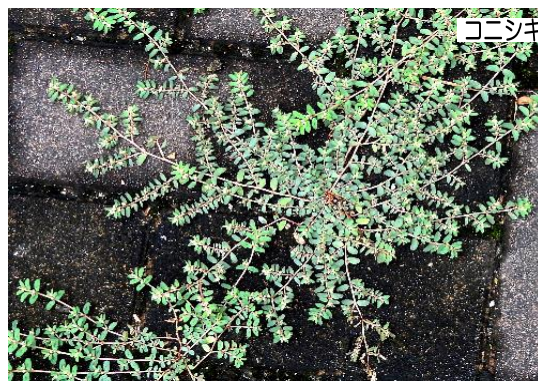
ヘクソカズラ



ノダフシ



ヤマイモ (実)



コシキソウ



コシキギといえば、お相撲さんを想像しますが全く関係なく 茎の様子を錦にしたか。ハイニシキ・オオニシキあり

クズの花



ノダフジ

フジの花は春にとっても見事な花をつけます。それを目的に植樹されている公園やひろばなどたくさんありますが、クズを植栽しているところはまずありません。厄介の代表格みたいな存在ですが、食材としてのくす粉・薬としての葛根使った薬、つるの利用など生活の必需物品として社会にありました。同じマメ科の花・クズは上向きにフジは下向きに花が咲いていきます。対極に位置するクズとフジ漢字で並べると「葛藤」です。



マルバルコウソウ



ママアサガオ



イボクサ



アキノナギツカミ



アメリカアサガオ

アサガオの仲間

アサガオは誰もが知っている有名な花、その種類なんて園芸品だからと思ってましたが、野草の中に何種か固定種が見受けられます。ママアサガオの筒部分がムラサキのホシアサガオがあるようですが見つかりません、朝顔という夏のイメージですが、これらはこの時期よく見られます。種はどんなだろうと今思いました



ヒシタゴボウ

水辺で

ジャブジャブ小川は絶えずじゃないけど水分が多もR垂れやすい場所こだけで見られやすいものが季節を追って観られます。イボクサはイボをとるのに使われたそうです。ウナギツカミという名前がつくもの実感します。ミノソバに似てます。ヒシがついているタゴボウ、茎にヒシがタカサブロウ まるっきり人の名前？



ハキダメギク



ヤハズソウ



イヌホウズキ



タカサブロウ

掃きために咲いていたのでハキダメギク。牧野富太郎さんがからんでいるみたいヤハズソウですが、ツメクサの仲間か思いがちですがハギの仲間。葉の端を軽くつまんで引っ張ると矢筈が・・・。ホウズキに似ているが全くホウズキでない。かつ毒性もある。「イヌ」は価値が低い

ヤブマオ



葉の表

葉の裏

花の形

カラムシ



よく似たイラクサ仲間の二種



イノコッチ



キノミシビキ



エノコグサ

野鳥観察新シーズン

わたり鳥が動く

ロクハ公園に渡ってきて子育てをするものはいません。今の時期やってくるのは冬越しする場所に向かっての移動の途中が多いです。一日で通過していく種もありますが、ここでしっかり栄養補給をして旅立つものもあります。ツツドリは1か月ほど見ることができます。



オオルリ



ツツドリ



サンショウクイ



エソビタキ



コサメビタキ



キビタキ



アサギマダラ



旅するチョウ
アサギマダラ

秋に南下をしていく蝶として有名で、この時期TV報道もされます。途中、休憩や体調を整えながら進むのですが、ロクハ公園でも見られる場合があります。オスにはフジバカマなどでフェロモン調整をする必要があり、たくさんのフジバカマを植栽しチョウの道の駅になっているところもあります



ヒヨドリバナ



フジバカマ



トノサマバッタ



イボバッタ



クルマバッタモドキ



オンブバッタ

赤とんぼを見分けるポイント



翅の端っこが黒いかどうか。黒かったらノシメトンボ、コノシメトンボ、リスアカネ+α。

顔(口鼻部分)に特徴がある種類、黒い斑があるマユタテアカネ、その部分が青く色づくマイコアカネ。ただし、他の種類にもこの特徴が出るものあり気を付けます。



リスアカネ



コノシメトンボ



ノシメトンボ



マユタテアカネ



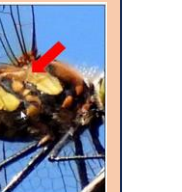
ヒメアカネ



マイコアカネ



ナツアカネ



アキアカネ

最終手段、確定するのは胸部横側の黒い模様(条線)です。これだけしっかり記録すれば、ほぼ同定できます。飛んでいる時はほぼ確認できません。とまっても横向いてくれないと翅が隠してしまうケースも。成熟して真っ赤になると模様はわかりません。個体差もあります。捕まえないとわからないですが、写真記録はそれに補うものです

翅の端が黒い

翅の端が黒くない

木の葉の日

9/22(日)AM10:00



ロクハの自然.COM

きのこウォッチング

9/29(日)AM10:00

facebook「ロクハ見守り」
www.facebook.com/rokuhafamily

ロクハ公園HP
http://www.park-698.net//



編集後記 とにかく秋が来てほしい。涼しい秋がきてほしい。
秋に咲く花は結構多いと痛感しました。紙面に押し込むのに汗かきました。